

就活生の企業選びとSDGsに関する調査

2021年8月調査

2015年に「持続可能な開発目標（SDGs）」が国連で採択されたのをきっかけに、様々な企業において、事業活動を通じた目標達成への取り組みが進められている。ディスコでは、2022年春に卒業予定の学生を対象に、SDGsの認知度、企業のSDGsへの取り組みと就職志望度の関連のほか、入社予定企業で取り組みたいことなどを調査し、分析を行った。

目次

- [1] SDGs（持続可能な開発目標）の認知度
- [2] SDGsを知った時期ときっかけ
- [3] 就職活動中のSDGsとの接点
- [4] SDGsへの取り組み度合いと就職志望度の関連
- [5] SDGs17の目標のうち関心の高いもの/入社予定企業が取り組めると思うもの
- [Voice] 入社予定企業で取り組みたいこと

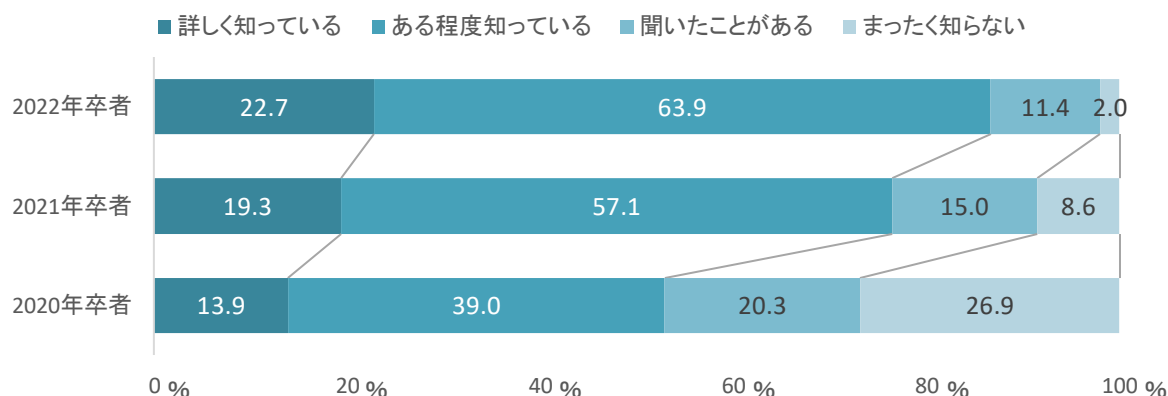
調査概要

調査対象：2022年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
 回答人数：1055人
 調査時期：2021年8月2日～8月11日
 調査方法：インターネット調査法
 サンプルング：キャリアス就活2022学生モニター

[1] SDGs（持続可能な開発目標）の認知度

「SDGs（持続可能な開発目標）」の認知度を尋ねた。「詳しく知っている」学生は22.7%で、「ある程度知っている」（63.9%）と合わせると8割強に上る（計86.6%）。2020年卒者と比較すると30ポイント以上増加しており、この2年で認知度が大きく上昇したことがわかる。

SDGs(持続可能な開発目標)の認知度



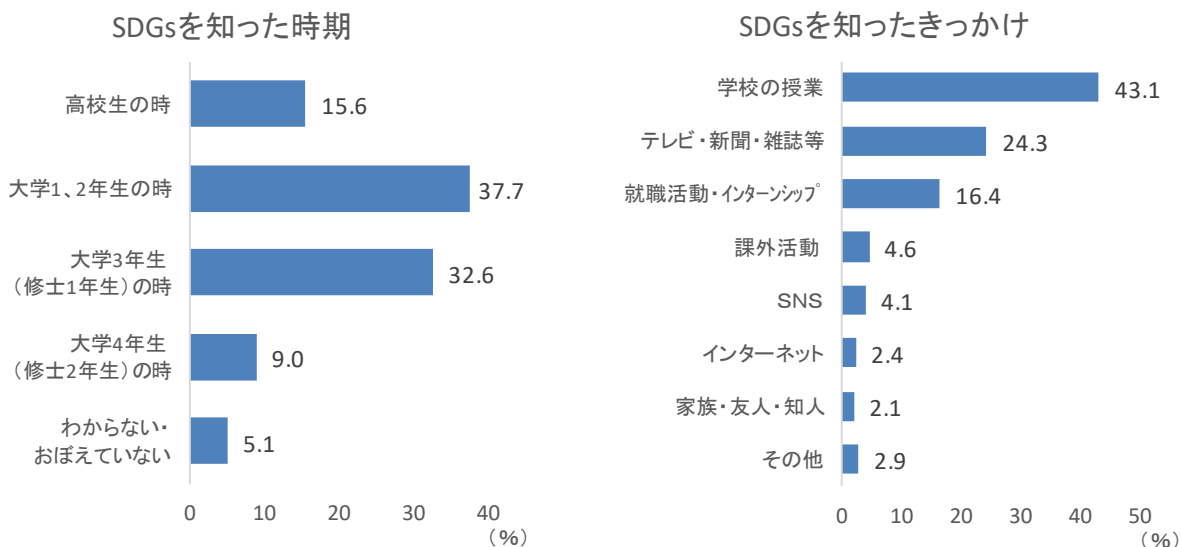
持続可能な開発目標（SDGs）とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、17の目標と169のターゲットからなる2016年から2030年までの国際目標

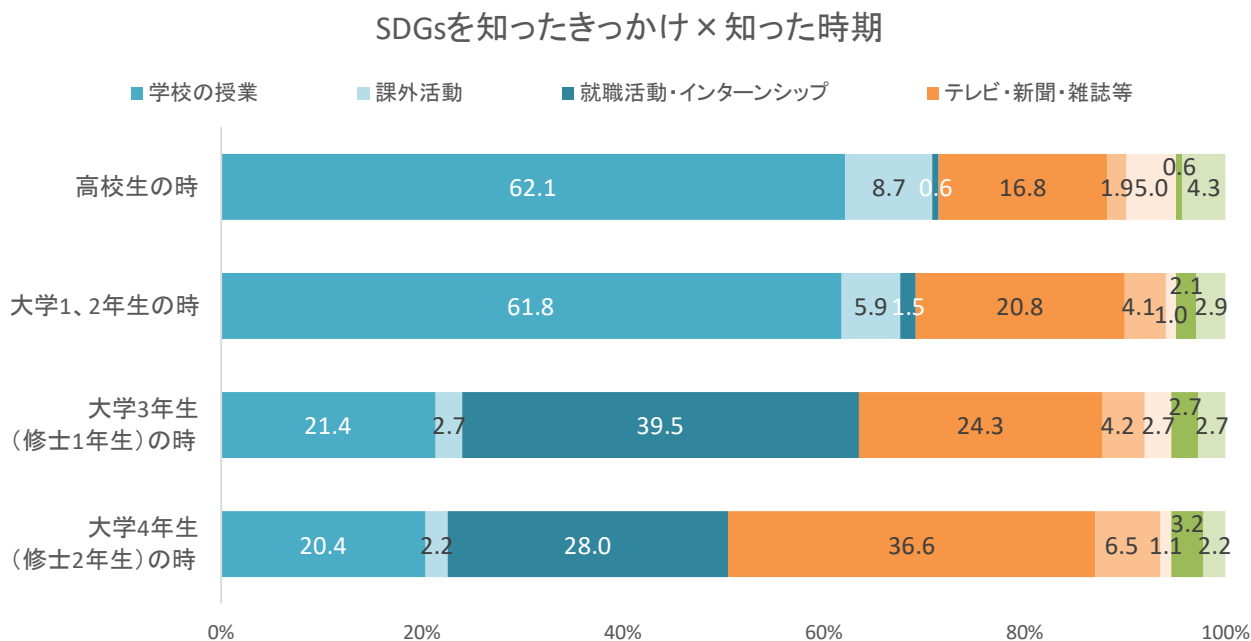
[2] SDGsを知った時期ときっかけ

SDGsを知った時期ときっかけについて尋ねた。知った時期は、「大学1、2年生の時」が約4割で最も多い(37.7%)。次いで「大学3年生(修士1年生)の時」が3割強で続く(32.6%)。また、「高校生の時」が15.6%あり、早くから認知していた人も一定数見られる

SDGsを知ったきっかけは、「学校の授業」が4割超で最多(43.1%)。「テレビ・新聞・雑誌等」(24.3%)、「就職活動・インターンシップ」(16.4%)が続く。



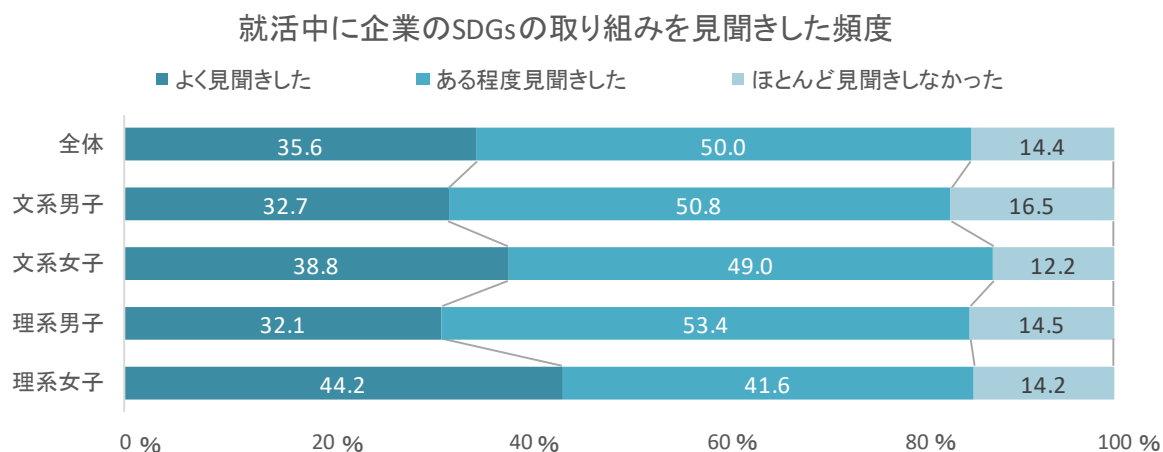
SDGsを知ったきっかけを、知った時期別に見てみた。「高校生の時」「大学1、2年生の時」に知ったグループでは、「学校の授業」が6割を超えて圧倒的に多い(62.1%、61.8%)。一方、「大学3年生(修士1年生)の時」に知ったグループでは、「学校の授業」の比率は2割台まで低下。最も多いのは「就職活動・インターンシップ」で、約4割(39.5%)を占める。企業研究を進める中で、各企業のSDGsへの取り組みに触れた学生も多かったようだ。



[3] 就職活動中のSDGsとの接点

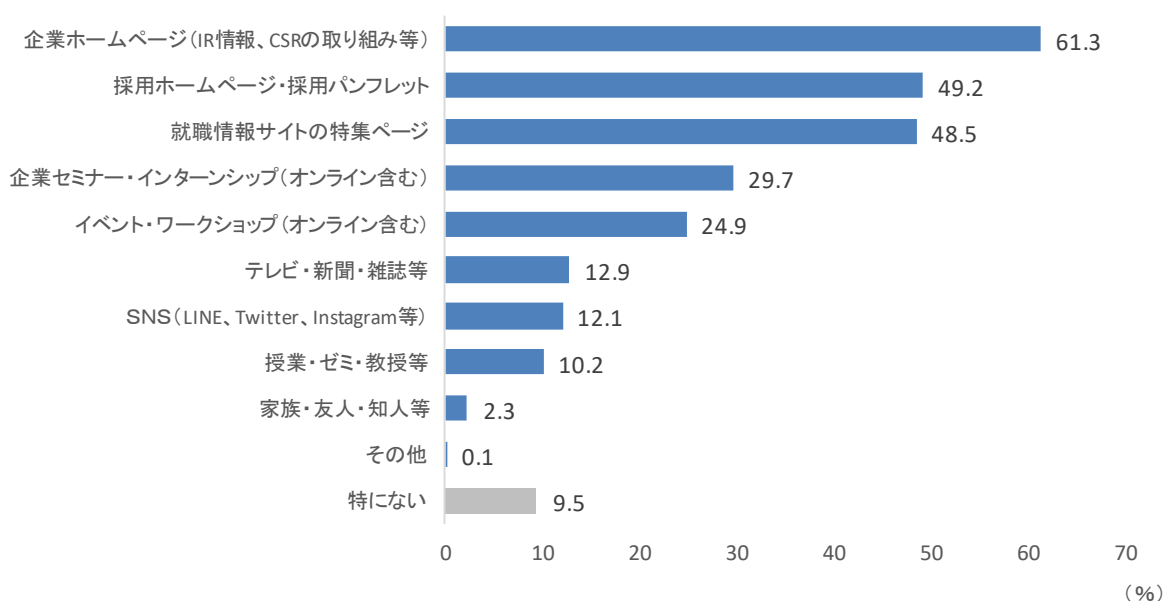
就職活動中に企業のSDGsの取り組みに関して「よく見聞きした」という学生が3割強(35.6%)。「ある程度見聞きした」(50.0%)を合わせて8割強が見聞きしたと回答した(計85.6%)。

属性別に見ると、文系・理系ともに男子よりも女子で頻度が高く、特に理系女子では「よく見聞きした」が4割強に上る(44.2%)。志望企業の情報発信の度合いや、自身のSDGsへの関心の高さによって差が出ているものと推測される。



SDGsへの取り組みに関する情報を、どのように入手したいと考えているのか尋ねた。最も多くの学生が挙げたのは「企業ホームページ」で、約6割(61.3%)に上る。「採用ホームページ・採用パンフレット」(49.2%)、「就職情報サイトの特集ページ」(48.5%)と、WEBサイトが上位を占めるが、「企業セミナー・インターンシップ」「イベント・ワークショップ」など、講義や体験を通じて企業の取り組みを理解したい学生も一定数見られる。

企業のSDGsへの取り組みを知る手段として望ましいもの

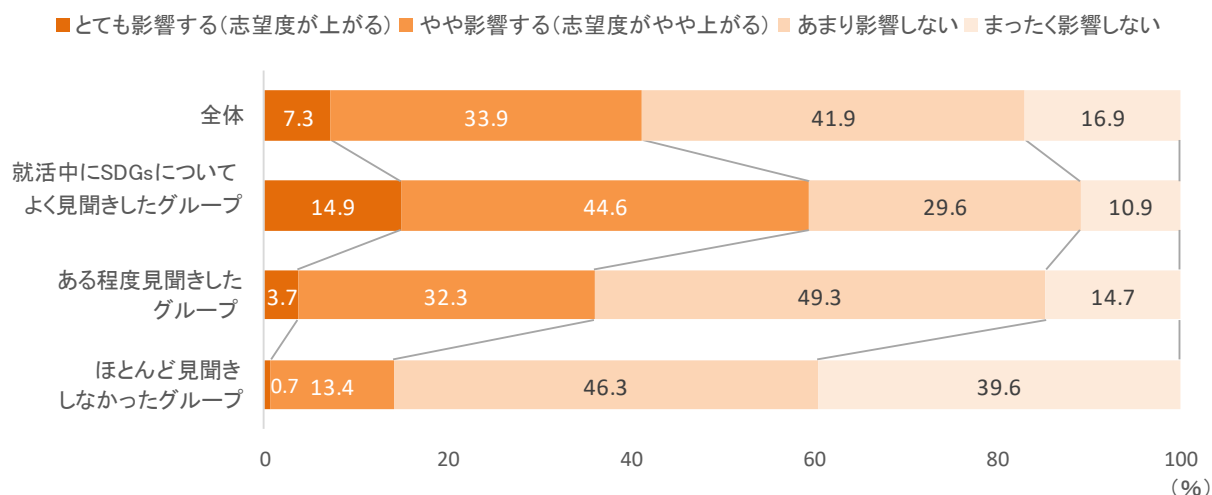


[4] SDGs への取り組み度合いと就職志望度の関連

企業のSDGsへの取り組みと就職志望度の関連について尋ねた。SDGsに積極的に取り組んでいることが、その企業への志望度に「影響する」と回答した学生は、「とても影響する(志望度が上がる)」「やや影響する」を合わせて4割を超える(計41.2%)。

これを前頁で見た就活中のSDGsへの接触度合い別に見ると、就活中にSDGsについてよく見聞きしたグループ(全体の35.6%)では、「影響する」の合計は6割に上る(計59.5%)。

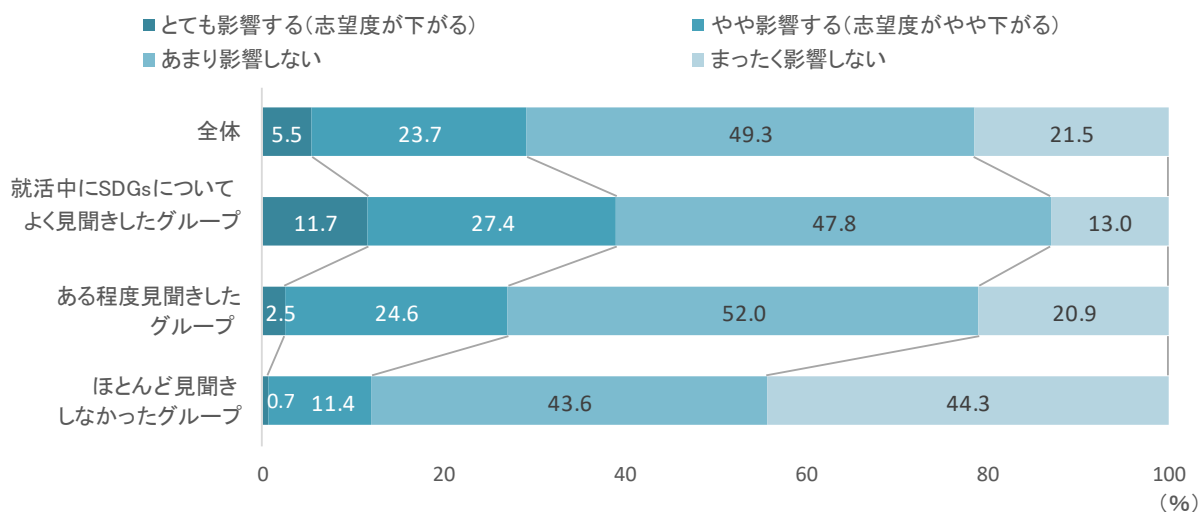
企業のSDGsへの積極的な取り組みによる志望度への影響



反対に、SDGsに積極的に取り組んでいないことで、その企業への志望度が下がるかどうか尋ねた。「とても影響する(志望度が下がる)」(5.5%)、「やや影響する」(23.7%)を合わせると、約3割が「影響する」と回答(29.2%)。こちらも就活中の接触頻度が高いグループほど影響度合いが大きく、よく見聞きしたグループでは「影響する」の合計が約4割に上る(計39.1%)。

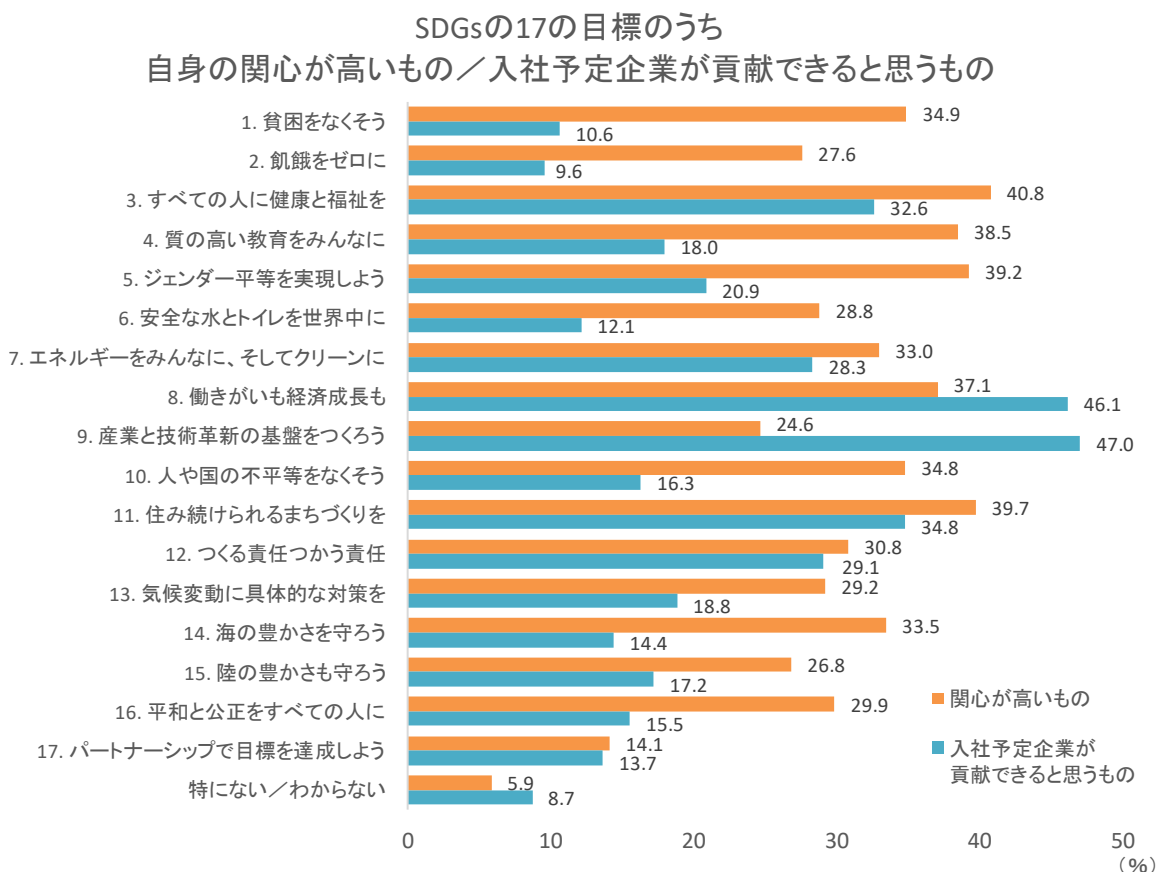
企業が社会貢献に取り組む姿勢とその情報発信によって、就職先としての志望度が変化することが表れている。企業においては、自社の取り組みをしっかりと伝えることが必要不可欠と言えるだろう。

企業がSDGsに積極的に取り組んでいないことによる志望度への影響



[5] SDGs17の目標のうち関心の高いもの／入社予定企業が取り組めると思うもの

SDGsの17の目標のうち、自身の関心が高いものは、「すべての人に健康と福祉を」が最多。多くの項目で3割を超え、関心の広さがうかがえる。一方、入社予定企業が貢献できると思うものは、「産業と技術革新の基盤をつくろう」「働きがいも経済成長も」が4割強で圧倒的に多い。ただ、その他の項目は比較的分散しており、入社予定企業の事業内容と関連した項目を選んだ結果と考えられる。



■ 参考データ

就職活動を終了した学生に、就職先企業に決めた理由を、30項目の選択肢の中から5つまで選んでもらった。最もポイントを集めたのは「社会貢献度が高い」(34.3%)。年々ポイントが増加しており、就職先企業の決定に与える影響度合いが増していることがわかる。

就職先企業に決めた理由

2020年卒者		2021年卒者		2022年卒者	
社会貢献度が高い	29.4	社会貢献度が高い	30.0	社会貢献度が高い	34.3
給与・待遇が良い	27.0	将来性がある	28.5	給与・待遇が良い	27.4
将来性がある	26.0	職場の雰囲気が良い	26.5	将来性がある	27.0
仕事内容が魅力的	25.8	給与・待遇が良い	25.9	有名企業である	26.2
福利厚生が充実している	24.6	福利厚生が充実している	25.5	福利厚生が充実している	24.0
有名企業である	22.5	大企業である	23.6	大企業である	22.4
職場の雰囲気が良い	22.4	仕事内容が魅力的	23.1	仕事内容が魅力的	22.0
大企業である	22.4	有名企業である	21.2	職場の雰囲気が良い	21.8
休日・休暇が多い	19.6	希望の勤務地で働ける	20.1	希望の勤務地で働ける	21.6
希望の勤務地で働ける	19.5	業界順位が高い	19.4	業界順位が高い	20.2

キャリアタス就活学生モニター調査 (2019年8月調査、2020年8月調査、2021年7月調査)

[Voice] 入社予定企業で取り組みたいこと



1 貧困をなくそう
保険を通じて、予期せず貧困になる人をなくしたい。 <損害保険会社内定/文系男子>



2 飢餓をゼロに
フードロスや気候変動への問題に取り組みたいです。 <食品メーカー内定/理系女子>



3 すべての人に健康と福祉を
より多くの人が質の高い医療を受けることができる世界を目指し、医療の質向上のための医療機器開発を行いたい。 <医療用機器メーカー内定/理系男子>



4 質の高い教育をみんなに
IT で誰もが教育を受けられるようにしたい。 <情報処理内定/理系女子>



5 ジェンダー平等を促進しよう
働き方の多様性を推進し、ジェンダー格差解消や働き甲斐を作り出したい。 <人材サービス会社内定/文系男子>



6 安全な水とトイレを世界中に
水に関わる事業に配属されるので、綺麗な水を世界中に届けることに取り組んでいきたい。 <機械・プラントエンジニアリング内定/理系男子>



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
再生可能エネルギーなどへの貢献を通して、クリーンエネルギーの発展に取り組みたい。 <エネルギー内定/理系男子>



8 働きがいも経済成長も
経済成長の面で、地元で貢献できるような人材になっていきたいと思います。 <地方銀行内定/文系女子>



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
新しい半導体材料の研究に携わりたいと考えており、AI や IoT など産業と技術革新の基盤を支えていきたい。 <電気・電子メーカー内定/理系男子>



10 人や国の不平等をなくそう
ビルや家づくりを通じて、いろいろな人が暮らしやすく、環境にも優しい街を造ってきたい。 <建設・不動産内定/文系男子>



11 つくる責任 つかう責任
消費財を扱うからこそ、環境負荷を最大限低くしたり、消費者意識を高めたりすることで環境問題に対して深くアプローチしたい。 <素材・化学メーカー内定/文系女子>



13 気候変動に具体的な対策を
IT 技術であらゆるものを繋ぎ合わせて、自然災害や感染症などといった急速な変化に対応できる社会を実現したい。 <情報処理内定/理系男子>



14 海の豊かさを守ろう
プラスチック代替素材の研究開発。紙でできることは紙で行い、脱プラに貢献する。 <素材・化学メーカー内定/文系男子>



15 陸の豊かさを守ろう
日本の農産物が売れる仕組みを作ることで、農林漁業が今後も継続して発展し続け、陸や海が適切に整備され続ける社会になるよう尽力したい。 <政府系金融内定/文系女子>



16 平和と公正をすべての人に
投資の観点から、SDGs に注力する企業を通して社会に貢献したい。 <証券会社内定/理系男子>

